

認可及び「中央労働學園」の設立許可が下つたので、協調會は同日を以つてその歴史を終ることになつた。従つて、本會は八月一日よりその清算事務に入ると共に、同月十日には全員召集の下に協調會解散式を挙行、更に左記の如き解散挨拶状と關係者に發送し、協調會解散及び新團體設立の事情を報告すると同時に、關係者一同の多年に亘る後援に對して感謝の言葉を送つて、協調會二十七年の歴史はこれにて幕を閉じたのである。

拜啓 時下愈々御清榮の饌奉慶賀候

陳者財團法人協調會は第一次大戰後わが國社會事情の變動に應へて資本と労働との協調を圖り社會政策に関する調査並に實行を促進し、以て產業平和の確立を期す心上時の大臣大臣次竹次郎氏を始め徳川家達、清浦奎吾、齋澤榮一、大岡育造等諸氏の主唱により政府の許可を得て、大正八年に創立致された山へなしことは御承知の通りに有之候。

當時社會問題の急難に多大の關心を懷け朝野先覺力有志が、或は巨財を捧げ、或は心血を傾け、奮然として本會の創業に協力せられたることは本邦社會運動史上に一新元老劃一たものとして世の周ねく感銘すらずところに御座候。

本會創立以來茲に二十有七年の歴史は時に或は勞資両方面上リ功罪の批判を受け、その間固より幾多の曲折